

地球社会共生学部 地球社会共生学科 履修モデル

卒業要件単位：124単位

国際的な開発課題と開発や国際協力のアプローチについて深い理解と知識をもち、政府・企業・市民団体において課題解決に向けて協働できる人材の養成

卒業後の進路として、さまざまな開発課題の解決に取り組む政府機関、NGO・NPO、企業・シンクタンク、将来的には国連や世界銀行をはじめとする国際機関などを想定した履修モデル。

科目の種類		1年次		2年次		3年次		4年次		モデル 単位計	卒業要件 単位計		
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位				
青山 スタン ダ ー ド 科 目	教養コア科目	必修	キリスト教概論 I	2						2	26		
	技能コア科目	必修	第二外国語 I A-1	1								8	
			第二外国語 I A-2	1									
			第二外国語 I B-1	1									
			第二外国語 I B-2	1									
			情報スキル I	2									
健康・スポーツ演習	2												
テーマ別科目	必修					キリスト教概論 II	2			2			
教養コア科目	選択必修	現代社会の諸問題	2							4			
		科学・技術の視点	2							4			
領域指定科目	選択必修			人間関係とコミュニケーションA	2					4			
				日本社会史A	2					4			
選択科目	選択	キャリア・デザイン・セミナー	2	世界の諸宗教	2	韓国・朝鮮の社会と文化A	2			6			
外国語科目	必修	Academic English(Speaking & Listening)	3	Academic English (Applied Skills)	4					16	16		
		Academic English(Reading & Writing) I	3										
		Academic English(Speaking & Listening)	3										
		Academic English(Reading & Writing) II	3										
専 門 科 目	共通基礎	必修	地球共生学	1							5	5	
			基礎演習 I	2									
				基礎演習 II	1								
				留学準備セミナー I	1								
		選択必修					アジア留学	1			1	1	
	専門基礎科目	M/SI	選択必修	文化人類学入門	2	空間情報システム入門I	2					8	8
		S											
	C												
	B												
	応用科目 (I群)	選択必修				アジアの経済入門	2						
					国際関係論	2	国際協力戦略論	2			14	14	
					東南アジア地域社会論	2	国際協力実践論	2					
					持続的開発論	2	紛争・難民・平和構築	2					
					社会・人間開発論	2							
応用科目 (II群)	選択必修				特殊講義C (II)	2	特殊講義C (V)	2	演習 II A	2	20	14	
							演習 IA	2	演習 II B	2			
							演習 IB	2	演習 (卒論)	4			
									特殊講義C (III)	2			
									特殊講義C (IV)	2			
Japan Studies	選択				Introduction to Japanese Politics and Society	2	Japanese Economic Cooperation in Developing Countries	2			4		
専門選択	選択		留学準備セミナー II	1	留学準備セミナー III	1	国際機構論	2			34	24	
			国際政治学入門	2	地球市民論入門	2	NPO/NGO論	2					
			国際協力論入門	2			国際経済学	2					
							グローバル化の社会学	2					
							地球環境と資源	2					
							自然災害とリスク管理	2					
				留学認定単位	12	多文化共生論	2						
自由選択科目	選択	青山スタンダード科目、専門科目における卒業に必要な単位数を超えて修得した単位 他学部の学科科目・専門科目および学部外国語科目										16	
単位数計			42		41		33		12		124		
			(最高履修制限単位：44)		(最高履修制限単位：46)		(最高履修制限単位：46)		(最高履修制限単位：48)				

※専門基礎科目の領域として、M/SIはメディア/空間情報、Sはソシオロジー、Cはコラボレーション、Bは経済・ビジネスを指す。